

議会だより



玖珠

もくじ

各常任委員会報告	2～6 P
基地対策特別委員会報告	7 P
3月議会で決まったこと	8～10 P
一般質問	11～15 P
シリーズ“ガンバリよるばい”	16 P

地域の“絆”を継承するみなさん
山下岩戸楽保存会

●発行／大分県玖珠町議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●印刷／くす印刷センター

〒879-4492 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268-5 TEL 0973・72・1507 HP <http://www.town.kusu.oita.jp/>

第139号

2021 5.15

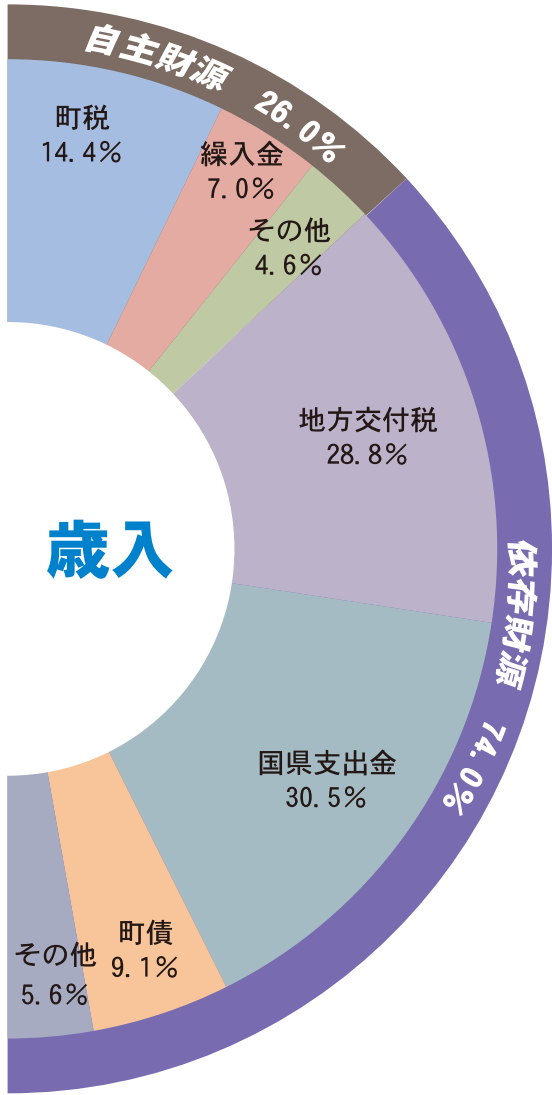
億8,200万円

(58.6%増)

(38.3%増)

前年度比
13億4,500万円増
(伸び率15.2%)

**予算
常任委員会**
こんなことを
審議しました



歳入

歳入質疑

問 デジタル化事業の3,500万円は国県の補助事業なのか。見込みはどうか。

答 国庫補助金として地方創生推進交付金1,272万1千円を見込んでいます。事前に総務省と連絡を取って、補助対象になるか協議いただき、現在申請中です。

(3月30日、国庫補助金交付の採択済みです)

効率的な財源活用を

令和3年度一般会計、各特別会計及び、水道事業会計の当初予算案件7件を審議しました。一般会計の当初予算は昨年に比べ13億4,500万円の増額となっています。主な審査の内容を掲載します。

歳出質疑

問 商工費、農林水産業費が減少しているが、投資的経費が限られてくることになるのか。

答 自主財源が26億円で、概ね昨年並みだが、全体の比率を昨年と比べると自主財源の比率は下がっている。今年度、こういった財政運営を心掛けていくのか。新型コロナウイルスのワクチン接種、令和2年7月豪雨災害が上乘せられていますので、総額が100億円を超える状況です。国庫支出金、負担金等でまかなくなって、自主財源比率が通常ベースであれば、4割程度ある部分が、3割ぐらいに減るといった形になります。

一般会計当初予算総額 101

国県支出金：11億4,494万5千円増

町債：2億5,694万4千円増

主な事業ピックアップ



7月豪雨災害からの復旧・復興
11億7,548万円



※シミュレーションの様子

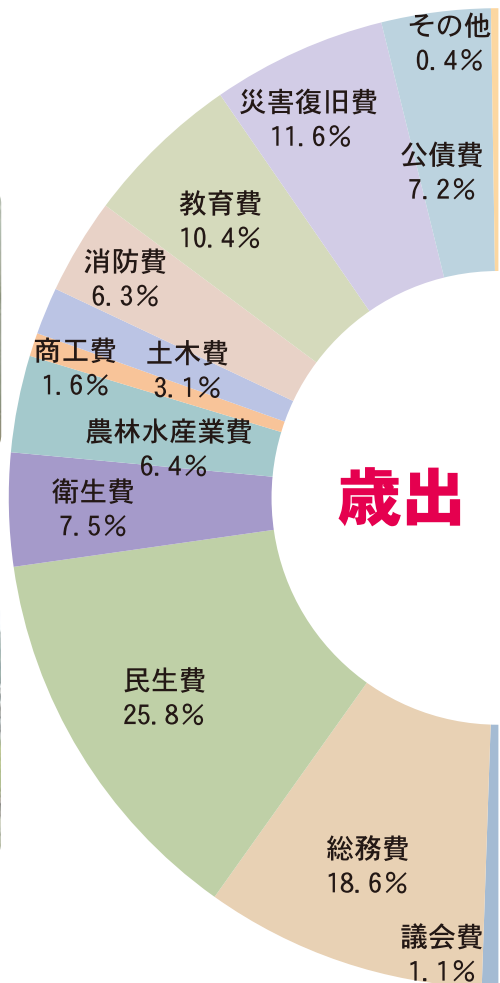
新型コロナワクチン接種
6,831万円



防災行政無線デジタル化事業
3億3,275万円



北山田自治会館建設事業
2億2,324万2千円



審査の付託を受けました議案7件について、全会一致で可決すべきものと決しました。

答
 投資的経費は起債を充てている状況なので、重点かつ重要なところを精査しながら、今後進めていかなければならないと考えています。

問
 旧北山田中学校グラウンドの用地売却が4,134万円で、旧北山田中学校線道路整備に、4,800万円とのことだが、どのような考えで実施しているのか、町道と町道を結ぶ道路であれば、有利な起債70%交付税の算入がある過疎債を充てられます。土地の買収に関しては、公共施設の管理基金に積立てをしていますが、

答
 今回のところ、公民館と詰所施設を別々に建てる、予算額より大きくなると判断しています。

問
 公共施設多機能化について、二つの機能を一緒にする事で、経費縮減が可能だがどう対応したのか。

新型コロナウイルスに対する対策費

補正予算額 1億3,559万2千円増

国県支出金 1億1,359万2千円
 (内、地方創生臨時交付金 7,100万円)
 財政調整基金繰入金 2,200万円

第1回臨時会 予算 常任委員会

こんなことを
審議しました

○中小企業者等経営支援事業 (農業者含む)

新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが減少した事業者に支援します。

補正金額 6,000万円

問 小規模農業者に対する支援が不十分ではないか。

答 通年型で対応できない分は、期間型で対応します。対応できない分については、関係課と今後、検討していきます。

○プレミアム付き商品券事業

町内の消費活動を喚起するため、プレミアム付商品券を発行して、町内の景気回復を図ります。

補正金額 3,300万円

問 低所得者向けに5千円の商品券をつくれないか。

答 今後、実施主体の商工会と検討していきます。

(検討結果今回1冊5千円で実施しました)

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

ワクチン接種の安全かつ円滑な実施に向けて、体制確保に必要な経費を計上します。

補正金額 4,259万2千円

審査の付託を受けました議案1件について、全会一致で可決すべきものと決しました。

『議会構成』が変わりました

議長 大野 元秀

副議長 小幡 幸範

議会運営委員会 (7名)

委員長 藤本勝美

副委員長 河島公司

委員 衛藤和敏

松下善法

小幡幸範

松本真由美

高田修治

予算常任委員会 (14名)

委員長 松本真由美
 副委員長 衛藤和敏
 委員 全議員

総務建設農林常任委員会 (7名)

委員長 高田修治
 副委員長 横山弘康
 委員 衛藤和敏 松本真由美 河野博文 藤本勝美 大野元秀

企画民生教育常任委員会 (7名)

委員長 松下善法
 副委員長 細井良則
 委員 河島公司 小幡幸範 石井龍文 宿利忠明 秦時雄

基地対策特別委員会 (7名)

委員長 藤本勝美

副委員長 細井良則

委員 石井龍文

宿利忠明

河野博文

高田修治 大野元秀

議会広報特別委員会 (7名)

委員長 小幡幸範

委員 横山弘康

衛藤和敏 河島公司

細井良則

松下善法 松本真由美



旧北山田中学校国道210号側入口

旧北山田中学校線

旧北山田中学校グラウンド売却に伴い、安全に通行できるよう、210号側上り口からグラウンド横を通る道路新設工事を行い、平川線まで、272メートルを町道認定基準要綱に基づき認定するものです。

総務建設農林 常任委員会

こんなことを
審議しました

2路線を町道認定

車谷・石飛線



国道387号取り付け口

車谷を起点に国道387号の石飛を
終点とする1,860メートルを町
道認定基準要綱に基づき認定するも
のです。これにより、民生安定事業
の採択に向けた町の熱意を示すもの
です。

【主な質疑応答】

問 完成予定はいつ頃になるのか。
答 令和3年度に申請すると、事業
採択が令和4年度になります。
令和4年から5年度にかけ概算
設計及び路線測量等を完了、令
和6年度に用地測量、その間に
用地買収を行い、工事着手は令
和8年度に予定しています。



平川交差点

本請願は、町道下泊里線の
平川交差点を中心とした拡張
改良を行い地元住民の生活道
の安全性・利便性を確保する
ために提出され、採択されま
した。

請願

平川交差点を
安全に

審査の付託を受けました議案9件、請願1件
について、全会一致で可決・採択すべきものと
決しました。

請負契約

契約金額 9,410万5千円

令和2年7月豪雨災害により被災
した、金栗院谷川河川災害復旧工事
請負契約を「株式会社宇佐建設」と
締結するものです。



河川の被害状況

金栗院谷川の復旧工事

第6次総合計画を策定

平成23年に策定した「第5次総合計画」の期間が、令和2年度で終了するため、令和3年度から令和12年度までの10か年の基本構想を盛り込んだ「玖珠町第6次総合計画」を策定するものです。

なお、15名の策定委員会を立ち上げ原案を調整し、玖珠町総合行政審議会における協議、答申を踏まえています。



企画民生教育 常任委員会

こんなことを
審議しました

- 問** 総合行政審議会から指摘された事項は何か。また、その対応は計画に反映されているのか。
- 答** 地域ケアシステムの構築や小さな拠点の形成と地域運営組織づくりまた、自衛隊や美山高校との連携などの指摘を受け計画への反映を行っています。
- 問** 総合計画を作っていく過程で住民からの意見聴取が困難であったがこの計画の周知をどのように行うのか。
- 答** ダイジェスト版を作り全戸配布をしますが、ホームページなど様々な媒体を活用して周知をしていきます。

【主な質疑応答】

【まちづくりの基本理念】

次代を担う子どもとともに未来をつくるまち
～住んでよかった童話の里～

【分野ごとの目標】

- ・ 地域に活力があふれるまちづくり
- ・ 健やかに自分らしく生きるまちづくり
- ・ 未来へつなぐひとづくり
- ・ にぎわいと活気を興すしごとづくり
- ・ 住み続けたいまちづくり
- ・ 明日を築くまちづくり

【施設名】

- ① 介護予防支援事業所
 - ・ 玖珠町地域包括支援センター
- ② 居宅介護支援事業所
 - ・ はね居宅支援事業所（老人保健施設はね）
 - ・ 玖珠町介護保険サービスセンター（社協）
 - ・ 介護保険サービスセンターウォーク
 - ・ 介護保険サービスセンター玖珠園
 - ・ 居宅介護支援センターれざんの木
- ③ 地域密着型（予防）事業所
 - ・ グループホームなごみ
 - ・ グループホーム笑みの里
 - ・ 共生の里メルヘン森栄館
 - ・ デイサービスはるかぜ

介護保険サービスの基準を変更

【主なポイント】

- ・ 感染症対策の強化
- ・ 業務継続に向けた取り組みの強化
- ・ 会議や多職種連携におけるICTの活用
- ・ 記録の保存等に係る見直し
- ・ 高齢者虐待防止の推進



基金を新設

3つの基金を新設します。

- ① 玖珠町新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給基金
- ② 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）基金
- ③ LED防犯灯維持管理事業基金

審査の付託を受けました議案19件は全て全会一致で可決すべきものと決しました。

工事の契約を変更

北山田自治会館の新築工事にて、請負契約の変更をするものです。

【変更内容】

- ① 基礎の深さを1メートル延長
- ② 残土仮置き場までの、場外搬出・再搬入を追加
- ③ 図書コーナーに倉庫を追加

【変更金額】

388万7400円の増加



基地対策 特別委員会

令和3年3月24日開催



在沖繩米軍射撃訓練

2021年度は見送り

防衛省から3月12日、2021年度は陸上自衛隊日出生台演習場での在沖繩米軍射撃訓練を行わないとの連絡がありました。

2020年度・2021年度、2年連続の訓練見送りによる、SACO関係特別交付金3億2,400万円が交付されないため、各種事業への影響が懸念されます。

駐屯地司令表敬

訓練日程・行事予定を確認



山口司令との意見交換＝玖珠駐屯地で

1月7日に、正副議長・正副委員長・基地・防災対策課長で玖珠駐屯地司令を表敬訪問しました。昨年、コロナ禍のため各種行事が中止になったことや、駐屯地駅伝を駐屯地内で行った経緯の説明を受けました。今年も駐屯地成人式の縮小開催や各種行事の開催について今後検討していく必要があるとのこと。訓練日程については、各部隊ごと訓練計画に基づき実施されるとの説明でした。

今後も、自衛隊との共存共栄のために意見交換を行い、自衛隊員と住民との交流ができるように努力していきます。

九州防衛局次長来庁

照井次長1月15日付で退職

1月7日に、九州防衛局の照井次長が来庁され新年の挨拶と15日付での退職について説明がありました。照井次長は、令和元年12月着任以来、日出生台演習場の周辺整備にご尽力していただくとともに、地域住民の負担軽減について考えていただきました。照井次長のご健勝と新天地でのご活躍をご祈念申し上げます。今後も九州防衛局との連携を取りながら、地元住民の負担軽減について意見交換を行っていきます。

要望書の主な回答

問 採草期の演習について、日程調整や立ち入り規制区域の緩和はできないか。採草に対する強い要望は認識しています。多くの部隊が訓練を行っていただきますので、訓練日程と採草の要望がかみ合うよう配慮し、対応できるように指導していきます。

答 玖珠駐屯地の隊員の増員はできないか。増員については難しいと考えています。しかし、我々としても重要な演習場の町と認識していますので、引き続き中央に意見を挙げていきたい。

問 車谷く小河内線の代替え路線の整備の考えは。今後、自衛隊の運用に伴う障害の実態、概略設計の結果等をお聞きした上で、できる限り御要望に添えるよう、努力して参りたいと考えています。日出生台演習場の米軍使用の考えは。

答 昨年度おこなわれた104移転訓練におきまして、「日出生台演習場の米軍使用に関する協定」及び「同協定に係る確認書」に定められた事項を遵守するよう、米側に要請したものの、結果として20時を超える射撃が行われ、その要請に応じなかったことは大変残念に思うと共に、地元の皆様にご心配やご不安を与えてしまったことをお詫び申し上げます。当該協定書等の理解を求め、引き続き地元の皆様のご不安や懸念の解消、安全確保に努めてまいります。

臨時会で決まったこと

開催日：2月16日

(全)：全員賛成

件名	付託	議決月日	結果		頁
令和2年度玖珠町一般会計補正予算(第11号)	予算 常任	2月16日	全	可決	P4

3月議会で決まったこと

開催日：3月3日～3月18日

(全)：全員賛成

件名	付託	議決月日	結果		頁
令和2年度玖珠町一般会計補正予算(第12号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和2年度玖珠町水道事業会計補正予算(第3号)	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和3年度玖珠町一般会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	P2
令和3年度玖珠町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和3年度玖珠町簡易水道特別会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和3年度玖珠町国民健康保険事業特別会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和3年度玖珠町介護保険事業特別会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—
令和3年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—

件名	付託	議決月日	結果		頁
令和3年度玖珠町水道事業会計予算	予算 常任	3月18日	全	可決	—
玖珠町固定資産評価審査委員会の委員の選任について 田坂 謙仁 氏（新任）	—	3月4日	全	同意	—
玖珠町第6次総合計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	P 6
辺地（日出生辺地）に係る総合整備計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
辺地（片草辺地）に係る総合整備計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
辺地（大野原辺地）に係る総合整備計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
辺地（鏡辺地）に係る総合整備計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
辺地（古後辺地）に係る総合整備計画について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
玖珠町自治公民館の指定管理者の指定について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
日出生北部地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
日出生南部地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
玖珠町長期継続契約を締結することができる契約を定める 条例の一部改正について	総務建設 農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町附属機関に関する条例の一部改正について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
玖珠町特別職の常勤職員の給与に関する条例の一部改正 について	総務建設 農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	総務建設 農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町基金条例の一部改正について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	P 6
玖珠町国民健康保険税条例の一部改正について	総務建設 農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町道路占用料徴収条例の一部改正について	総務建設 農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町国民健康保険条例の一部改正について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
玖珠町介護保険条例の一部改正について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	—
玖珠町指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人 員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	企画民生 教育	3月18日	全	可決	P 6

件名	付託	議決月日	結果		頁
玖珠町指定居宅介護支援等の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	企画民生教育	3月18日	全	可決	P 6
玖珠町指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	企画民生教育	3月18日	全	可決	P 6
玖珠町指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	企画民生教育	3月18日	全	可決	P 6
玖珠町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務建設農林	3月18日	全	可決	—
玖珠町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	企画民生教育	3月18日	全	可決	—
町道路線の認定について（旧北山田中学校線）	総務建設農林	3月18日	全	可決	P 5
町道路線の認定について（車谷・石飛線）	総務建設農林	3月18日	全	可決	P 5
金栗院谷川河川災害復旧工事請負契約の締結について	総務建設農林	3月18日	全	可決	P 5
北山田自治会館建設事業 北山田自治会館新築工事請負契約の変更について	企画民生教育	3月18日	全	可決	P 6

請願

件名	付託	議決月日	結果		頁
町道下泊里線の拡幅改良整備についての請願書	総務建設農林	3月18日	全	採択	P 5

条例、規則

件名	議決月日	結果
玖珠町議会委員会条例の一部改正について	3月18日	可決
玖珠町議会会議規則の一部改正について	3月18日	可決
玖珠町議会傍聴規則の一部改正について	3月18日	可決

報告

件名	議決月日	結果
専決処分の報告について（その1） （法律上その義務に属する損害賠償の額を定めることについて）	3月3日	承認
専決処分の報告について（その2） （和解及び損害賠償の額の決定について）	3月3日	承認
専決処分の報告について（その3） （和解及び損害賠償の額の決定について）	3月3日	承認
専決処分の報告について（その4） （和解及び損害賠償の額の決定について）	3月3日	承認
専決処分の報告について（その5） （和解及び損害賠償の額の決定について）	3月3日	承認
専決処分の報告について（その6） （和解及び損害賠償の額の決定について）	3月3日	承認

町政を問う

一般質問

※一般質問とは議員がその町村の行財政全般にわたって
執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求めるものである。



宿利 忠明

子育て支援課について

問 「子育て健康支援課」が新設されたが「健康」がついた理由を伺う。

答（子育て健康支援課長）
妊娠期、出産期及び乳幼児期は、保健師の担う役割が非常に重要で、保健師業務を包括し、「健康」を含めて「子育て健康支援課」としました。

問 他の課との連携、成果と課題について伺う。

答（子育て健康支援課長）

庁内の子育てに関する関係部署との連携会議を開催することができ、より緊密な情報連携が可能となりました。また、宝島社が発行する「田舎暮らし」2月号の中の子育て世代部門において、玖珠町は、全国240の自治体の中で16位に選ばれました。専任課とセン

ター機能を設けたことの取り組みが認められたものと思います。

コロナワクチン接種の体制は

問 コロナワクチン接種の体制整備を伺う。

答（子育て健康支援課長）

メルサンホールでの集団接種を基本として、かかりつけ医療機関での個別接種を実施する予定です。また、65歳以上の高齢者が接種を受けるためのクーポン券の発送など適切に対応します。

問 接種は一日に何人を想定しているのか、模擬訓練はしないのか伺う。

答（子育て健康支援課長）

ワクチン1本で5名の接種計画を考えています。定員管理による予約受付を実施して、効率的な接種をします。担当職員、スタッフ全員で内容を共有して今後は、医師会、役場職員、応援スタッフ等でシミュレーションをして、接種に向けて万全な体制を図っていきます。



秦 時雄

新型コロナウイルスワクチンの接種体制は

問

高齢者や障がい者等、介護が必要な人に対する自宅での個別接種について伺う。

答（子育て健康支援課長）

出張接種等が可能かどうか、まだ医師会との協議が来ていないので、今後検討していきます。

問

優先接種の対象者である65歳以下の基礎疾患のある人の把握について伺う。

答（子育て健康支援課長）

町はデータを有しないことから、本人からの自己申告とし、集団接種会場で集団接種する際に、基礎疾患の有無に関する証明等の提示を求めないことになっています。

問

居住地外のかかりつけ医や大学生など、県外に住んでいる人達の接種について伺う。

答（子育て健康支援課長）

基礎疾患があり、かかりつけ医が町外である場合や、長期入所者等については、例外的に町外でも接種でき、単身赴任者や下宿生、里帰り妊婦等は、市町村への申請を基に、居住地で接種できます。また、全国知事会と日本医師会が集合契約を行って連携しており、日本国内の医療機関で接種できます。

胃がん検診に内視鏡検査の導入は

問

胃がん検診に内視鏡検査の導入が出来ないか伺う。

答（子育て健康支援課長）

現在は、厚生連健康管理センターで行う施設検診に限り、助成対象となっています。提案の個別の医療機関（病院等）での検査については、今後、内部協議を行っていきます。

その他の質問

・令和2年7月豪雨による災害、激甚化する自然災害と防災について



横山 弘康

合併後の農協との連携は

問

現農協では、玖珠米、畜産の評価獲得、夏秋野菜等を奨励し、直販事業を展開している。県農協ではそれらをどう評価しているのか、また、県農協と今後どのように連携、関わりを持っていくのか伺う。

答（農林課長）

現農協に確認したが、それらの評価は不明とのことでした。県農協とは、国県等補助事業活用、農家の経営安定や所得向上、生産規模拡大、地域活性化等、合併前の対応と変わりはありません。懸念される点は、玖珠支店を通じて注視し、場合によっては県農協に直接要望等を行っていききたいと考えています。

伝統芸能等に公演機会の創設を

問

コロナ過の中、楽や神楽、盆踊

などを演じる機会が失われ継承が危ぶまれる状況にある。伝統芸能等の公演機会を町がつくることは考えられないか。

答（社会教育課長）

今後も各種イベントや地域の伝統行事など可能な限り披露の場があればと考えています。町では伝統芸能の保存継承、PRにつながる方策について、書面記録や映像記録などで関係団体と相談し、さらに社会教育関係だけでなく企画観光、総務部門とも相談し、今後検討していきたいと考えています。

その他の質問

・玖珠町ブランド構築について
・デジタル化社会推進について



古後神楽 大蛇退治



大野 元秀

ゴミの収集計画は

問

リサイクルボックスの設置や小売店に空き瓶、ペットボトルの回収箱が設置できないか。

答（住民課長）

適切な分別の徹底後に、回収箱の設置について、検討すべきだと考えています。

問

ゴミの収集計画は一般廃棄物処理基本計画の中で見直しを行うと言いますが計画を伺う。

答（住民課長）

平成31年に策定して10年度目標としています。実施計画は毎年です。

問

実施計画の中で収集計画が変えられるのか伺う。

答（住民課長）

実施計画の中では、ギリギリの状況で委託業者が収集している経

過から、基本計画の中で分別も含め「3」が減る方向での計画になれば、週2回の地域を増やせるか、基本計画の中で検討していきたいと考えています。

伐株山の魅力創出を

問

文化財と公園部のエリア分けを行い、魅力の相乗効果がある内容として伐株山全体の活用計画が描けないのか伺う。

答（企画商工観光課長）

活用計画につきましては、町民全体を巻き込んで計画を策定していくべきだと考えていて、今回、伐株山山頂にブランコの設置の要望書が提出されたことから、「キリカプランコ」つくて！委員会」をはじめパラグライダー団体やコミュニティなども含め一緒になって計画作りを進めていくものと思っています。



細井 良則

デジタル技術の活用を

問

町のデジタル推進班の体制、専任1名、兼務8名で具体的な目標の設定や改革が推進できるのか。

答（町長）

令和3年度からは専任2名以上の体制を取りたいと思います。

問

急速に進むデジタル化の中で、住民のニーズはどこにあると考えているのか。

答（企画商工観光課長）

30代から70代までの幅広い世代の方々からアイデアを出していただいたので、意見を集約しながらニーズに対応していきたいと考えています。

その他の質問

・新型コロナウイルスの感染症対策で購入した備品、消耗品の管理について

GIGAスクールの取組は

問

ICT教育を行う上で、家庭におけるインターネット環境の調査結果は。

答（教育政策課長）

通信環境が整備されていない家庭の児童生徒が8人となっています。

問

経済的にインターネットの環境整備ができない家庭に対する支援は。

答（教育政策課長）

LTE通信用のSIMカードを貸し出すとともに、来年度、新たにWiFi等の通信環境を整備する家庭に対しては2万円を補助します。



パソコンを操作している児童



小幡 幸範

**文化財の保存保護から
保存活用へ意識の転換を！**

問

文化財の保存保護に重点を置いてきた従来の方針から転換し、保存活用に向けた文化財保存活用地域計画の策定は考えていないのか。

答（社会教育課長）

住民、民間団体、行政など地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、存続させることが期待される計画なので、地域住民の協力と理解なくして実現はできません。令和4年度以降の着手を検討しているところです。

答（町長）

令和3年度は関係団体等と情報収集や調整を行い、令和4年度以降の早い段階で計画策定を手掛けていきたいと考えています。

その他の質問

- ・ 防災対応について
- ・ 地域福祉の取組について

ワクチン接種後の副反応への対応は

問

新型コロナウイルスの接種後の副反応に対する体制は協議できているのか。

答（子育て健康支援課長）

国内において生命に関わるような重篤な事例は出ていませんが、西部圏では日田市医師会、玖珠郡医師会、3市町の合同会議が開催され副反応発生時の対応について説明がありました。健康不安への相談窓口を大分県コールセンターが担い、町では広報の徹底など連絡先がわかるようお知らせを行います。



安全で安心な接種体制を



衛藤 和敏

**美山高校「地域産業科」と
玖珠町農業振興**

問

パークマット栽培を普及させないか。

答（農林課長）

平成29年にパークマット推進協議会が設立され、5年間の推進計画により、今年度で実績報告が完了です。これを踏まえ普及について対応を行っていききたい。

問

農業生産者と「地域産業科」が共にあるように連携強化する取り組みができないか。

提案1 パークマット栽培用のカーンエキ装置開発を日田林工「電気科」と共同で取り組めないか。

提案2 玖珠町農業の弱点でもある低温期の野菜栽培解決のため、冬場のトンネルを利用した栽培実証実験ができないか。

提案3 新品種開発に取り組み玖珠町オリジナル新品種開発ができ

ないか。オリジナル品種はブランド化の早道であり強力な差別化が可能、また、生徒が開発した品種が玖珠町農業に貢献することは何よりの自信となる。以上についての見解を伺う。

答（農林課長）

カーンエキ装置開発、冬場の農産物強化試験、新品種開発など美山高校が関与していただければ、高校の魅力化はもとより地域産業や「くすまちブランド化」にも直結すると思われれます。特にカーンエキ装置は肥料給液の自動化やデジタル農業に貢献できるものとなり、教育の一環として可能か学校関係者と協議してみたいと考えています。提案の新しい農業のアイデアを美山高校に伝え、今後、町の農業振興や町独自のオリジナル品種、商品化につながる可能性を検討したいと考えられています。



パークマット栽培



河島 公司

施政方針の一番がなぜデジタル化なのか

問 令和3年度に向けて一番にデジタル化を提唱するのは、町長の本意なのか。

答（町長） デジタル化は目的でなく手段手法の一つだと捉えています。コロナでコミュニケーションができない分、デジタル情報を活用しながらまちづくりを取組みます。

問 なぜ、今、デジタル化を急ぐのか、何を指すのか。
答（企画商工観光課長） 町として新しい生活様式を早く構築していくための手段であり、町民の利便性の向上や行政事務の効率化を進めていきます。

コロナ感染対策で町の判断は

問 どこまで支援対策を行うのか、非常に厳しい選択が求められるが考えを。

答（町長） コロナ対策費総額22億円のうち、約8割が1人10万円の給付金、残り2割に影響を受けた事業者等への対策、デジタル化等に取り組みました。今後は感染防止対策を最優先に、経済回復対策を可能な限り考えています。

問 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」をどう使う計画なのか。

答（企画商工観光課長） ①感染防止、②雇用の維持と事業の継続、③経済活動の回復等の目的に即した事業を各課で計画し、事業の精査を行った上で、影響を受けているところの支援を念頭に置いて取り組めます。

その他の質問
・第6次総合計画策定について



石井 龍文

町税の納税状況は

問 納税は国民の義務ですが、納税組合の時代と現在の納税状況を伺う。

答（税務課長） 納税組合の時より現在のほうが徴収率は伸びています。

問 滞納金の不納欠損処理と、町営住宅の滞納について伺う。

答（税務課長） 滞納金の処理については税務課に与えられた権限で、定められた方法で処理しています。
令和元年度の不納欠損額は、町税として1,315万6千円になります。

答（政策法務課長） 町営住宅の滞納については、税務課の方法になりますが、債権の回収については、法的手段をとっています。

わらべの館・久留島記念館の運営状況は

問 入館者や運営状況について伺う。

答（わらべの館館長兼久留島武彦記念館事務局長）

わらべの館は建設当時、全国でも類を見ない子どもための施設でしたが、時代の変化とともに役割も変っている状況です。昨年はコロナ禍の中、来館者は激減していますが、図書の貸出しについては直近の実績で年間約5万冊を維持しています。

問 久留島武彦記念館も同様に、入館者は伸びていませんが、書籍とグッズの販売は伸びています。

答 今後の運営についてどの様に進めるのか伺う。

答（わらべの館館長兼久留島武彦記念館事務局長） 図書館のない町村の一つなので将来的には図書館設置を考えていきます。
久留島記念館は各種イベントを開催しながら町立博物館として、町内外に情報発信を続けていきます。

“ガンバリよるばい”

このコーナーは
玖珠町で生き生きと活動する
社会教育団体を紹介します！

演武を錬磨し「伝統文化の継承」のため頑張っています！

県指定無形民俗文化財 山下岩戸楽保存会



入口看板に書かれた「由来」

＜保存会役員＞

会長 後藤喜美男 各6自治区から役員選出

＜奉納場所＞

山下大御神社（秋の大祭）

＜奉納日＞

毎年 9月18日直近の日曜日

＜演技内容＞

囃子に併せて練り歩く「道楽」

境内で勇壮な杖やコモラシを披露する「庭楽」

*境内にある記念碑正面の「御大典記念六郷公園」の文字は久留島武彦の書です。



保存会前会長
松本廣美さん

私が山下岩戸楽に関わったのは中2の時、演武を切磋琢磨して、一人前になった頃、昭和46年第13回九州地区民俗芸能大会で、楽人36人お供8人で、福岡市民会館の演武場に立ちました。会場から満場の歓声をいただいたことは今も忘れることはできません。その年に県指定無形民俗文化財の指定を受け、これを機に保存会を立ち上げ演技の継承に努めています。私も楽人として30余年、楽庄屋として40年、後輩の指導と山下岩戸楽の発展を願っていきます。



しょう。住民と協働でのまちづくりを進めていきたいと思います。

コロナ禍の中、令和3年度がスタートしました。本年はこれから10年の町づくりの指針となる「玖珠町第6次総合計画」もスタートします。まちづくりの基本理念は「次代を担う子どもとともに未来をつくるまち」に住んでよかったです。里々で

編集後記

「議会広報特別委員会」

委員長 大野 元秀
編集長 河島 公司
委員 小幡 幸範
委員 松本真由美
委員 横山 弘康
委員 衛藤 和敏
委員 細井 良則

3月議会の傍聴者数は、**23人**です。

議会の傍聴にお越しく下さい。
次回の定例会は**6月**です。